

県立高校の旬な情報を毎月お届けします。マナーアップ通信，部活動やボランティア活動などの各学校の特色ある取組，学校紹介，コラム，お知らせなど各高校の魅力的な取組の情報が満載です。中学生の皆さんの進路選択にぜひ御活用ください。

10月号の目次

- | | | | |
|------------|-------------|-------------|-------------|
| 1 マナーアップ | 2 特色ある取組 | 3 学校紹介 | 4 コラム |
| (1) 工業高校 | (1) 蔵王高校 | (1) 仙台向山高校 | (1) 白石工業高校 |
| (2) 富谷高校 | (2) 角田高校 | (2) 宮城第一高校 | (2) 村田高校 |
| (3) 古川工業高校 | (3) 名取高校 | (3) 第二工業高校 | (3) 柴田高校 |
| | (4) 仙台二華高校 | (4) 田尻さくら高校 | |
| | (5) 泉松陵高校 | (5) 松山高校 | 5 お知らせ |
| | (6) 加美農業高校 | (6) 古川高校 | (1) 鹿島台商業高校 |
| | (7) 迫桜高校 | | |
| | (8) 石巻好文館高校 | | |
| | (9) 石巻北高校 | | |

1 マナーアップ

(1) 工業高校 <朝の一声運動への参加>

宮城県工業高校では，自転車通学における交通安全運動をはじめ，校内や学校周辺地域での活動に力を入れ実施しています。今年度は生徒会活動の機会が減少していることもあり，新しい試みとして10月26日（月）から10月28日（水）の3日間行われた，PTA朝の一声運動に参加しました。この運動は本校で毎年行われているPTAの方々による活動です。今回は，生徒会執行部に所属する生徒が全校生徒の挨拶活性化を目的に参加しました。今後も生徒会執行部では，自主的に朝の一声運動を実施し，全校生徒の学校生活が明るく楽しく元気くなるように活動を行っていきたいと思っています。



(2) 富谷高校<マナーアップ強化日 ~毎月15日~>

富谷高校は、自転車通学の生徒が半数以上を占めており、定期的に正門及び東西門で交通安全指導を行っています。月ごとに決められた期間、教員や生活委員の生徒が交通安全を呼びかけています。その中でも毎月15日は「マナーアップ強化日」として生徒指導部員や校長、教頭が正門に立って生徒に声がけします。先月の強化日には、PTA会長さんを始めとして多数のPTAの役員の方も参加してくださいました。地域の交通安全協会の方や警察の方、富谷市長さんが参加することもあり、地域が一丸となって交通安全に取り組んでいます。

富谷高校は、今後もこのような活動をとおして交通マナーを生徒に身に付けさせ、地域の一員として社会に貢献できる人材を育てていきます。



< 学校のホームページはこちらです >
<https://tomiya-h.myswan.ed.jp/>

(3) 古川工業高校<マナーアップ運動>

本校では、例年各クラスから選出された交通安全委員が定期的に通学路に立ち、登校してくる生徒たちに対して交通ルールの遵守や交通安全の呼びかけを行ってきました。

今年度は、休校や天候の関係で実施できていませんが、昨年度までの活動では、自転車事故の発生状況や警察からの指導を踏まえ、主に自転車通学時の交通ルールやマナーの遵守を目的に、自転車通学の生徒たちへの声がけに力を入れました。

全国的にも自転車と歩行者が関係した死傷事故等において、自転車側が加害者となり、高額な賠償を請求される事例も多数報告されています。このような背景を受け、数年に一度、プロのスタントチームによる事故の再現を含む「自転車安全教室」を開催しています。

これらの活動や体験を通して、生徒たちが自転車の持つ危険性に気づくだけでなく「自転車も自動車と同じ」との認識を持って利用して欲しいと思います。



< 学校のホームページはこちらです >
<https://furukk-h.myswan.ed.jp/>

2 特色ある取組

(1) 蔵王高校<ZAP (蔵王あすなろプロジェクト)>

本校では、総合的な探究の時間をZAP(蔵王あすなろプロジェクト)と名付け、学校活動と社会とを有機的に結び付けた地域密着型の課題解決プログラムとして実施しています。地元で活躍している社会人を招いての地域学習や近隣施設でのボランティア活動、梨の摘果作業などの体験学習等をとおして、教室の中の学びがどのように社会とつながっており、自分はどのような社会人になるのか、という具体像を描くことができます。学習発表会は蔵王町ございんホールを貸し切り、町役場の職員の方々だけではなく、ゲートボール協会や地域の住民方、保護者や同窓生などが多数訪れる中、全生徒が発表します。



地域に根ざした開かれた学校を目指し、蔵王高校生はいつも生き生きと活動しています。

< 学校のホームページはこちらです >
<https://zao-h.myswan.ed.jp/>

(2) 角田高校<角田から、無限の宇宙へ>

1年次の「総合的な探究の時間」において、「SDGsを知ろう」というテーマで国際理解教育が行われました。SDGsについて、生徒は、知っている、見たことはある、聞いたことがない、などと様々でしたが、世界の現状と私たちのつながりについての話に、皆興味を持って耳を傾けていました。特に、見えないけれども日常生活に関わる様々な製品に含まれているパーム油は、生産の過程で環境破壊や児童労働の問題につながっているという話を聞き、その現状に生徒たちはいろいろと考えていた様子でした。



「環境問題などの無関係に思える大きな問題も、どこか一端に私たちにも関わりがあるならば、私たち次第でその問題にアプローチできるのではないか。」という問いかけに対して、高校生である自分たちにできることは何があるのかを考えてみました。生徒は積極的に「節約をする」「シャンプーを使いすぎないようにする」「エコバッグを使う」などと前向きな意見をたくさん出していました。小さな一歩がたくさん集まると、大きな力になるのだということを感じていたように思います。高校生の力は強いと思います。自分たちにできることを、(誰かではなく、自分が。いつかではなく、今から)行動して行ってほしいと思います。



< 学校のホームページはこちらです >
<https://kakuko.myswan.ed.jp/>

（３）名取高校＜本校の特色を生かした文化祭＞

今年の文化祭（名高祭）は8月28日（金）に開催されました。今年は感染症対策のため、校内発表のみの名高祭となりました。

家政科3年生による「ファッションショー」は被服コース選択の生徒を中心に、18名が個性溢れるドレスを製作し披露しました。生徒は夏休み中も就職活動や進学準備の合間を縫って製作しました。縫製技術だけでなく、舞台構成などの課題も話し合いながら作り上げました。

スポットライトの中、多くの生徒に見てもらえるよう中央ランウェイと学年の間を歩きステージに向かう工夫をしました。準備期間が短かったことを感じさせない出来映えとなりました。どの生徒も緊張しながらも、達成感に溢れた表情をしていました。

＜ 学校のホームページはこちらです ＞
<https://natori-h.myswan.ed.jp/>



（４）仙台二華高校＜“世界の水問題の解決”に挑む＞

仙台二華高校には特色ある取組がたくさんありますが、その取組の1つが「グローバルスタディ課題研究」（学校設定教科）です。『世界の水問題の解決』をテーマに生徒が自ら課題を見つけ、2年間（科目の選択によっては3年間）にわたり探究活動を行います。この活動の一環として高校1年次生対象の北上川フィールドワーク（以下「北上川FW」）を10月1日（木）、2日（金）の2日間で実施しました。今年度は、コロナ禍のためにここまで本校の取組のほとんどを中止または縮小して実施してきており、これが今年度初の例年レベルでのイベントになりました。

岩手県と宮城県にまたがる北上川に関して、その歴史や周辺の地形、自然環境、近隣の自治体が抱える様々な課題などについて、実際に現地に赴いて学びます。1日目は、7つのHR（ホームルーム）が3つに分かれ、（1）伊豆沼サンクチュアリセンター、（2）一関の北上川学習交流館と岩手山焼走り溶岩流、（3）東松島市の野蒜海岸、洲崎湿地をそれぞれ訪れ、研修を行いました。2日目は八幡平中腹にある旧松尾鉱山跡地で育樹活動（補植・追肥）を行いました。この鉱山はかつて東洋一の硫黄産出量を誇った鉱山でしたが、硫化鉄鉱と水（雨水や地下水）、酸素が反応して発生する強酸性水が、閉山となった今でも流出していて大きな問題となっています。そのため、現在大規模な中和施設が設置されていますが、その維持費は年間5億円にも及んでいます。鉱山にはまだまだ大量の硫化鉄鉱が眠っていますが、それと反応する水が地下に流れ込まないように山の保水力を高めるための緑化活動がこの育樹です。今年で10年目を迎える北上川FWですが、当初から継続している活動で、かつての生徒たちが植えた樹木も大きく育っています。当日は天候に恵まれ、近くに岩手山を望みながら、生徒は黙々と作業を行っていました。慣れない作業ではありましたが全員が充実した表情で終えることができ、ホテルでの昼食（美味しいカレー）を達成感溢れる笑顔で頬張っていたのが印象的でした。環境保全の規模としたり小さいかもしれませんが、継続していくことでいつか環境が蘇ることを期待し、これからもこの活動を続けていきたいと思っています。



＜ 学校のホームページはこちらです ＞
<https://nika.myswan.ed.jp/>

（５）泉松陵高校＜ボランティア活動への参加＞

本校では、年間を通して、多くの生徒がボランティア活動に積極的に参加しています。主な内容は、あいさつ運動や街頭募金活動、地域の児童センターにおける算数教室やお祭りの準備等、多岐にわたります。中には、募集がかかると即日定員を超過してしまうものもあり、本校生徒のボランティア参加に対する意識の高さを窺い知ることができます。

また、部活動単位でも地域貢献を目指して、ボランティアに取り組んでいます。地域の落ち葉拾いや雪かき、チアリーダーが児童センターを訪れて、児童に基本動作から教えるチアリーディング体験教室（「チアに挑戦しよう！」）等、いずれも地域の方から好評を得ています。

年間延べ500名以上の生徒がボランティア活動に参加しており、活動を通して、地域の方々と交流を図ることはもちろんのこと、地域と共に歩み、地域に愛される学校を目指しています。



< 学校のホームページはこちらです >
<https://shoryo.myswan.ed.jp/>

（６）加美農業高校＜オープンキャンパスの様子＞

本校は120年の歴史をもつ農業高校で、実体験を重視した様々な学びにあふれています。農業科、農業機械科、生活技術科の3つの学科があり、更に7つの部門（作物・畜産・草花・露地野菜・施設野菜・果樹・植物バイオ）に分かれて学習しています。

今年のオープンキャンパスは三密を避ける形での実施となりました。足下の悪い中でしたが、多くの中学生が目を輝かせながら、全体説明会・寮説明会、そして一番の目玉イベントである各コースに分かれた体験学習に参加しました。

畜産コースでは牛とのふれあい体験や給餌体験を行いました。果樹コースではあいにくの雨であった為収穫体験ができませんでしたが、より良い果実を選び、磨く選果作業を行いました。

自動車整備コースでは、工具を用いたエンジンや部品の学習体験、機械工作コースではコマの作成や溶接体験、家庭技術科コースでは本校の枝豆を用いた、ずんだ餅作り（写真）を、それぞれ行いました。

どの体験学習でも、生徒の真剣なまなざしと、期待にあふれた表情が印象的でした。

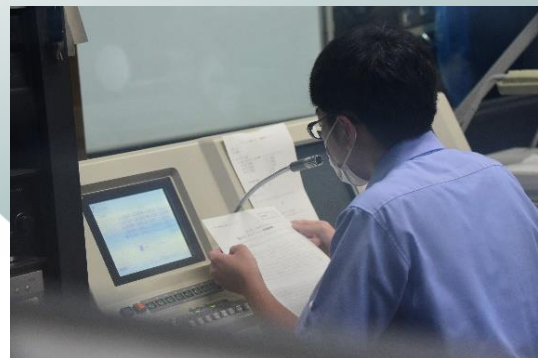
学校のウェブサイトはこちらです。是非ご覧になってください。



< 学校のホームページはこちらです >
<https://kamino-h.myswan.ed.jp/>

(7) 迫桜高校〈産業社会と人間〉

「産業社会と人間」とは、総合学科に特有の、学校設定教科に関する科目です。通称“産社”と言われ、1年次の前期に週4時間行われます。産社は、生徒それぞれが将来の夢の実現のために「今、必要な力をつける」ことに向けた実践的な学習の時間です。『自分史作成』、『科目選択』、『職業人講話』など実際に見たり聞いたり、友達と話し合ったりしながら自分自身の生き方を考え、自分の夢の実現の為に何をすれば良いのか具体的な計画を立てます。計画を立てる中で迷いや悩みを抱えることもあるかもしれませんが、その迷いを自分の力で解決していくのが産社の特徴でもあります。



産社の最後には自分の夢の実現に向けた設計図を「ドリカムプラン」として仕上げます。

9月18日（金）に、そのまとめたプランの発表会が行われました。コロナ対策により放送による実施となりましたが、代表者の発表を真剣に聞き、メモを取りながら自分のプランの修正を行う姿を見ることができました。

< 学校のホームページはこちらです >
<https://hakuou.myswan.ed.jp/>

(8) 石巻好文館高校

<総合的な探究の時間～甲斐あるひとといわれたいむ～>

石巻好文館高校では、その校是 『甲斐ある人と言われなむ』（真心をもって 世のため人のために 尽くす人になるように 日々努力する）を実現するために、総合的な探究の時間を、「甲斐あるひとといわれたいむ」と銘打ち、様々な取り組みを行っています。

先日、外部講師活用事業を活用して、1年生対象に「SDGsの基本理解講話」を実施しました。今年度から1年生では総合的な探究の時間の足がかりとして、SDGsの理念を基に身近な社会に潜む課題を洗い出し、よりよい社会作りのために何ができるかを考えていく時間を設けました。

この講話を通じて、自身の何気ない行動が世界とつながっていること、他人事とっていたことが私たちの生活に大きな影響を及ぼしていること、つまり世界はつながっていることを改めて実感できました。一人一人ができることは小さなことですが、その積み重ねが私たちの大きな未来を築き上げていくことを肝に銘じ、明るい未来に向けた探究活動を模索していきたいです。



< 学校のホームページはこちらです >
<https://koubunkan.myswan.ed.jp/>

（9）石巻北高校＜学校説明会＞

石巻北高校では、例年中学生及びその保護者に対して本校の教育活動を紹介し、体験の機会を設けていたオープンキャンパスが、コロナウイルス症拡大の影響で中止となってしまいました。そこで、代替措置として学校説明会を開催し、中学生の進路選択の一助としてもらうよう取り組みました。

通算238名の中学生と保護者に参加していただき、8月11日の午前と午後に1回ずつ、12日の午前に1回の計3回実施しました。内容は、本校の特色や進路実績、令和3年度入試についてそれぞれ担当者がパワーポイントなどを用いて説明しました。説明後希望者は部活動見学も行い、本校についての興味・関心を深めていただいたようでした。



< 学校のホームページはこちらです >
<https://ishikita.myswan.ed.jp/>

3 学校紹介

（1）仙台向山高校＜向陵祭＞

例年8月最終の土日に本校の文化祭である「向陵祭」が開かれます。

各団体の展示発表およびそれを紹介するPR動画、全体企画、文化部ステージ発表、バンド演奏、模擬店、バザーなど、盛りだくさんの企画が行われます。手作りのお化け屋敷や脱出ゲームなど各団体とも工夫を凝らしたもので、大いに盛り上がりまします。一般公開である土曜日には、多くのお客様にご来場いただいています。

この向陵祭は、企画から宣伝、運営、会計に至るまで、生徒の手によって行っています。今年は新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で残念ながら向陵祭が中止になってしまいましたが、仙台向山高校では多くの行事を生徒自らが手掛けています。今年は「中庭片足手押し相撲大会」を企画・開催し、各教室に中継しました。

皆さんも、仙台向山高校で生き生きとした高校生活を送ってみませんか。



< 学校のホームページはこちらです >
<https://mukaiyama.myswan.ed.jp/>

（２）宮城第一高校＜校舎が変わりました！＞

本校では新校舎の建設に向け、一時的に仮設の新校舎に移って学習活動を行っています。8月初めにこれまで長きにわたり本校生を見守ってきた愛着ある校舎から仮設校舎に“引っ越し”をしました。新しい校舎は仮設とはいえ、内外ともに白を基調とした明るい雰囲気、開放感・清潔感のある校舎となっています。各教室に冷暖房（エアコン）が完備されているため、例年以上に暑さの厳しかった今年の夏も快適に授業をうけることができました。また、生徒が自習できる教室やスペースも増え、集中して自学に取り組む3年生も多くなっています。一方、これまでの校舎の伝統的な「口の字型」の構造は受け継がれ、校章がデザインされた中庭は変わらずに生徒の憩いのスペースになっているようです。各教室にはプロジェクター・スクリーンも備え付けられてICTを活用した授業もより多くなるなど、これまで以上に熱心に学習に取り組める環境になりました。10月に行った「学校公開」では、見学にきてくれた多くの中学生の皆さんが「仮設なのに広くて立派だった！」「校舎内がきれいなので勉強にも集中できそう」といった感想を寄せてくれました。

なお、新校舎は2023年に完成する予定で、現中学3年生は本校に入学すると「新校舎最初の3年生＝卒業生」となります。楽しみに待っててください！

＜ 学校のホームページはこちらです ＞
<https://miyaichi.myswan.ed.jp/>



（３）第二工業高校＜夜間定時制高校の学校生活＞

本校は、電子機械科と電気科の2学科からなる夜間定時制工業高校です。全日制の高校と異なる点は、授業時間帯が全く違うことと給食があることです。午後5時の給食から学校が始まり、午後8時45分までの40分4時間授業になります。

本校の給食は生徒にはもちろん教員にも大好評で、毎日温かく栄養バランスがとれた上にとってもおいしい給食を食べることができます。人気メニューはカレーや数種類の丼やラーメンなどで、おかわりすることもできます。

在籍生徒数は1クラスあたり3～10名でアットホームな雰囲気があり、先生や友人たちに気軽に相談できて、生徒たちにとって心地よい居場所になっているようです。授業や実習も先生が一人ひとりの理解度や進度を確認しながら、ゆっくりと丁寧に進められています。多くの生徒が昼間の仕事（アルバイト等）に励んでおり、毎日充実した高校生活を送っています。

＜ 学校のホームページはこちらです ＞
<https://m2k.myswan.ed.jp/>



(4) 田尻さくら高校<進路学習「さくらクエストデー」>

8月28日(金)、本校はこの日を「さくらクエストデー」とし、各年次で進路活動を行いました。1年次は、進学希望者と就職希望者に分かれ、それぞれ学校や企業の見学へ、2年次は大崎管内にある複数のものづくり企業をお招きしての説明会、3年次は進路別発表会や模擬面接など各自の試験を見据えた対策、多年次はコミュニケーション講座を行いました。

進路が明確な生徒も、漠然とした考えをもつ生徒も、皆真剣な様子でそれぞれの活動に取り組んでいました。説明会を受けて2年次の生徒は、「まず色々なことを体験して自分の可能性を広げていくことが良い将来を築ききっかけになると思いました。」「職業について深く考えることができた。これから、どんなことが自分に向いているのかしっかり考えていきたいと思う。」など前向きな感想を述べており、進路に対する意識づけとして有効な取り組みであったと思われます。



【1年次：
大崎高等技術専門学校】



【2年次：
ものづくり企業説明会】



【3年次：面接練習】



【多年次：
コミュニケーション講座】

< 学校のホームページはこちらです >
<https://tajiri-hs.myswan.ed.jp/>

(5) 松山高校<いよいよ後期始動！>

LHR各学年の取り組み

< 1学年 > 総合的探究の時間 : 進路の日

< 2学年 > 総合的探究の時間 : 進路の日

夏休みに「卒業生による就職・進学講話」があり、身近にいた先輩の体験を聞き、これからの進路に生かすべく取り組み始めました。

< 3学年 > 進路に向けた面接練習と各種資格取得の受験に向けた事前指導

球技大会



9月4日(金) 新型コロナウイルス感染拡大防止と熱中症対策をしっかりと行い、各学年は久しぶりの行事に熱く闘志を燃やし戦いました。運動会もなく初めての球技大会でしたが、見事1年生が、総合優勝しました。

1日体験入学



9月5日(土) 事前に予約された中学生と保護者の皆さんにご来校いただきました。今年は例年と違い、体験授業は出来ませんでした。DVDや在校生の話を中心に学校紹介と施設見学を行いました。中学生の皆さんは熱心にメモを取り、興味深そうに校舎内の見学をしていました。見学後は個別相談も実施しました。

ほっこりカフェ



期日 : 令和2年度 月1回

時間 : 15:50~16:30 会場 : 図書室

メニュー : 季節のお菓子、飲み物



種目 : 男女ソフトボール
女子ドッジボール
男子卓球・女子卓球
男女バドミントン
男女バレーボール
女子バスケットボール
男子フットサル

< 学校のホームページはこちらです >
<https://matuyama-h.myswan.ed.jp/>

* 誰でも参加できます
* ゲーム・読書・おしゃべり等

（6）古川高校 <古川高校での『総合的な探究の時間』で学ぶこと>

古川高校では、3年間毎週木曜日の7時間目に『総合的な探究の時間』があります。この時間では、地域や社会の課題を見つけ、その解決策を友人と協力しながら探究する力を養います。また、調べたことや考えたことを他の人に伝える力も養うことを目指します。

ところで、皆さんは自分の将来についてどのようなことを考えていますか？高校生活を充実させるためには、将来の目標をしっかりと見定めることが大切になります。そのためには、自分が何に興味があるのか、どんな適性があるのかに気付くことが必要です。「総合的な探究の時間」を使って、地域や社会の課題を見つけるわけですが、その際には自分が興味のある課題に取り組んでもらいます。興味があるということは、将来のその分野に関連することを仕事とする可能性が高いと思われるます。より深く探究していくことによって、自分の将来を考えるきっかけにもなるわけです。

変化のスピードがどんどん速くなっている現代社会では、答えが見つからない課題がどんどん出てきています。まさに今回の新型コロナウイルスの感染拡大に直面した人類が、どのようにこの問題に立ち向かっていけば良いのか。この地球上にその完全な解決策を持っている人はどこにもいません。今回のコロナの問題だけでも、文系・理系問わず様々な課題が見えてきます。まさに今の時代、次々に出てくる課題に立ち向かい、その解決策を探る力を持っている人材が求められています。「総合的な探究の時間」は、社会から求められる人材に自分を近づけていくための時間でもあるのです。

今年度は新型コロナウイルスの影響で、学校の外に出て行うフィールドワークが出来ていません。しかし、実際の社会で活躍している人々と出会って、教科書にはないことを学ぶことはとても大切だと考えています。今後、学校外で学ぶ機会を設けながら、自分の興味あることを探究していく時間にしていただければいいなと考えています。



グループごとに取り組んだ課題研究を発表している様子（令和元年度2年生）



各クラスから選ばれた優秀な研究を文化祭で発表している様子（令和元年度2年生）

< 学校のホームページはこちらです >
<https://furuko.myswan.ed.jp/>

4 コラム

(1) 白石工業高校<白石工業高校写真部の魅力>

白石工業高校写真部は、毎年様々な大会で優秀な成績を収めています。

団体では、2017年の高校生写真サミットで日本一に、2018年高校生国際写真フェスティバルで世界一に、昨年度ニコトップアイ年度賞で全国2位になりました。

個人でも、昨年度は全国2位を筆頭に62枚の賞状をいただきました。

ただ、本校写真部の魅力は賞状を沢山もらえることだけではありません。

一番は人間的に成長できることにあります。写真を撮る際、他人に話しかけてとらなければならないので、コミュニケーション能力が培われます。大人と接する機会が多いので、礼儀や挨拶といった現在の高校生が苦手な部分が3年間で自然と身に付きます。

また、写真を撮る以外に様々なレクリエーションも多いので、部員の仲が非常に良いです。ここ数年人狼ゲームがはやっていて、顧問の先生も時々参加してくれます。

まだまだ写真部の魅力は沢山あります。皆さんも本校に入学して一緒に写真を撮りませんか。



こうち総文出展作



世界大会



横浜での表彰式

< 学校のホームページはこちらです >
<https://shiroishi-kougyou.myswan.ed.jp/>

(2) 村田高校

<村高3年次生 いよいよ出陣！～質の高い進路達成100パーセントを目指して～>

現在、村田高校の3年次生は、それぞれの進路希望の達成に向けて、一生懸命に取り組んでいます。

今年は民間就職希望者が約57%となっています。コロナの影響で例年よりは遅れていますが、10月中旬から始まる採用試験への準備を着々と進めています。

公務員希望者も、役場職員や自衛官などを目指して勉強を続けてきており、先日一次試験に臨みました。まだ結果は明らかになっていませんが、よい結果となることを期待しています。

大学・短大・専門学校への進学希望者は、多くの生徒がAO入試や推薦入試を利用するため、勉強だけでなく小論文や面接の練習などにも必死で取り組んでいます。

基礎学力やコミュニケーション能力など、3年間で身につけた力を発揮し、大きな夢への第一歩を踏み出そうとしています。

“村田高校は、「未来を拓く、選択肢が広がる」単位制・総合学科の高校です”



【進路激励会 決意表明!!】

(令和元年度)

< 学校のホームページはこちらです >
<https://murata-h.myswan.ed.jp/>

（3）柴田高校<Classi を活用した学習環境の整備>

●Classi による学習支援

柴田高校では、今年度から学習支援アプリ Classi を1・2学年において導入し、学習動画の配信などを行なっています。

2学年においては、動画の配信に加え、生徒自身が学習記録を記入することで学習習慣の定着化を図っています。

1学年においては、習熟度別に大学進学・基礎定着・基礎確認の3つのコース（通称「クラ勉」）を設け、生徒それぞれが自分に適したコースを選択することで、学習内容の定着・応用へと繋げています。本校では、教職員一丸となって最大限のサポートを提供し、生徒一人ひとりの目標進路実現に向けて取り組んでいます。

みなさんも柴田高校であなたの夢を実現してみませんか。



< 学校のホームページはこちらです >
<https://sibata.myswan.ed.jp/>

5 お知らせ

（1）鹿島台商業高校<オープンキャンパスのご案内>

今年の鹿島台商業高校のオープンキャンパスは11月14日（土）に開催します。

内容は、進路状況や資格取得などの学校紹介と体験授業・校舎案内です。体験授業は国語・数学・英語などの普通教科と商業科の体験を予定しています。特に商業科目についてみなさんに理解してもらえよう準備をしています。また、希望者はオープンキャンパス終了後に自由に部活動を見学することもできます。

なお、オープンキャンパスの申し込みは10月5日（月）から11月6日（金）までとなっております。詳しい日時や申し込み方法につきましては、本校のホームページでご確認ください。

< 学校のホームページはこちらです >
<https://kasimadai-ch.myswan.ed.jp/>

